

出張医学教育FD(富士見高原病院)

【日時】 平成25年6月3日18時00分～18時30分

【場所】 富士見高原病院 【参加人数】 18名

【内容】

○卒前臨床クラークシップの現状

- ・見学型臨床実習(ポリクリ)と参加型臨床実習の違い 等

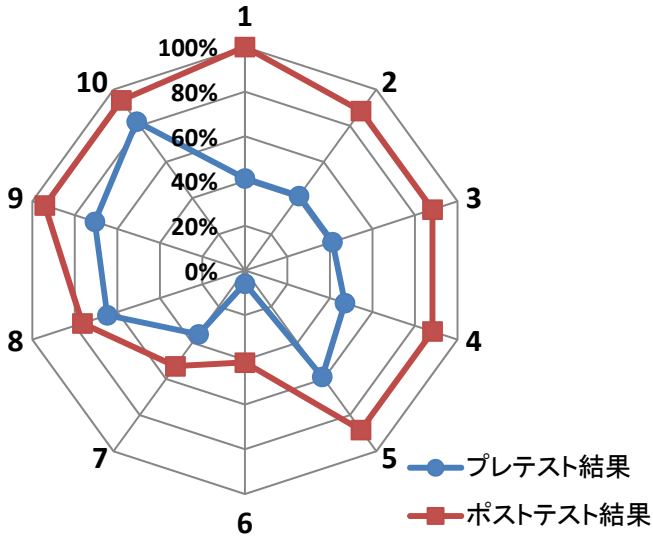
○信州大学における今後の臨床実習

- ・150通りの選択肢からなる参加型臨床実習について
- ・学生が行うことのできる医行為について

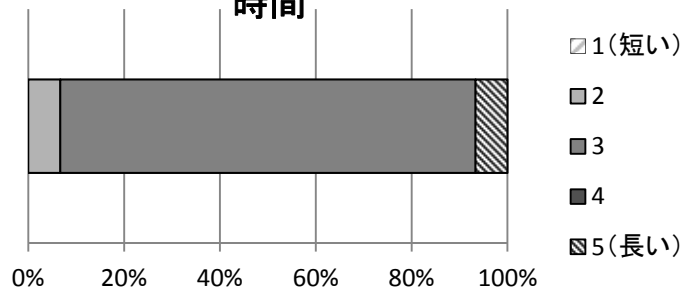
○DVD映像で見る参加型臨床実習



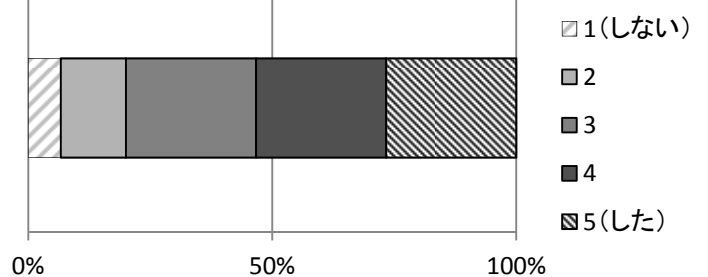
医学教育についての理解度



時間



ニーズにマッチしたか



参加者の意見

FDで分かったこと	FDで疑問が残ったこと	ご意見
臨床クラークシップについて	学生が起こした事故に対する保険について	すぐに忘れることが多く、自分にできるかという思いがある
診療行為を十分行うこと・参加型が重要	学生の責任をどこまで求めるか	責任の所在がよくわからない。
大学の現状・時代が変わったということ	学生が行ってもよい医行為の範囲	初期研修医1年目のレベルを身に付けさせるのは時間の短さから考えれば不可能
担当患者に対して事前に承諾書作成が必要があること	小病院ではできる内容と時間が限られることを理解していただいているかという点	初期研修医のどの技能・レベルまで習得させたいか具体的な教育目標を掲げたほうがよい。
アメリカの医学教育がトレンドであること	同意書の書式を示してほしかった。	
学生に診療録記載をさせてよいこと	実際にどこまでやらせられるかという点	
教育が難しいこと	現場での実習の運用法	
スタッフ内で方針の統一が必要なこと	少人数の診療科でどのようにするかという点	
学生に考えさせることの重要性		